

平成25年度 佐渡市算数部 活動報告

部長 椎 一夫（両津小学校）

1 研修の主題

「学力向上を目指した授業研究」
～ 算数科における言語活動の充実・学び合いを通して ～

2 研修の概要

(1) 新潟県小学校新教育課程研究集会の伝達講習会（会場：金井小学校）

- ① 期日 平成25年 8月21日(水)
- ② 内容

第1部 教育課程研究集会の報告 算数部員：山村 典之 教諭（沢根小学校）

授業改善には、「実感を伴って課題を捉えさせる。見通しをもって順序立てて考えさせる。算数の用語を用いて説明させる」や「Webから誤答となりやすい考え方を、式と図を結びつけて理論的に説明させる」が大切であることを学んだ。

第2部 学習指導要領改訂について 講師：田中 範克 校長（両津吉井小学校）

「学習指導要領の改訂に関わって」の講話を聞き質疑を行った。「常に変化し続けようとする教師」が話題となった。

(2) 算数科授業研究会（会場：河原田小学校）

- ① 期日 平成25年11月22日（水）
- ② 内容

第1部 公開授業 授業者 中川絵里子 教諭

- 単元名「図形の面積」（第5学年）
- 授業の実際

思考力を伸ばすために「長方形の中に来た三角形の面積が、長方形の $1/2$ になっているか」を判断する課題を共有の課題として提示した。グループ内や全体の場において、考えを出し合ったり分からないところを聞き合ったりする姿が見られた。また、ジャンプ課題として三角形の数が2つの場合も含めて6題出し、色分けされた面積がもとの四角形の $1/2$ になっているかを判断していった。



第2部 示範授業 授業者 平山 誠 燕市教育委員会 指導主事

- 単元名「面積を求めよう」（第6学年）
- 授業の実際とご指導

活用の授業に学び合いを取り入れた授業であった。「教師の巧みな声掛けが参考になった」や「自分も『分かる』『分からない』を、『すっきり』『もやもや』という言葉に換えて、使ってみたい」という声が聞こえた。



示範授業の後「算数が好きになる子どもの育成」について講話を聞いた。R(リサーチ)を入れたRPDCAで子どもの困り感に対応することの大切さを学んだ。